

(議事要旨 4) 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会 (ASBJ) の西川委員長より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。その後、以下のとおり、基準諮問会議の委員より意見が出された。

- 概念フレームワークの当期純利益の論点について、我が国の主張が受け入れられるよう議論していくことが重要である。また、開示に関する IASB の議論については、関係者の反対が多くいったん止まったはずの議論が中途半端に復活するのではないかと懸念があり、留意して欲しい。
- 第 2 回の ASAF の前に IASB が概念フレームワークについての論点整理を出すと聞いているが、IASB が ASAF において議論を十分せずに、急ぎ過ぎているのではないかという印象がある。

これらの意見を受け、ASBJ 小賀坂副委員長より以下の発言がなされた。

- 当期純利益については、ASBJ としても中心的な課題と考えており、重点的に取り組んでいく予定である。
- 開示については、ASBJ としても重要視しているが、以前の財務諸表の表示の一体性の原則が復活するという理解はしていない。
- ASAF 自体は基準の設定主体では無いため、ASAF の議論を通さないと論点整理が出せないという性格のものでは無い。ただし、ASAF における議論で、論点整理の公表前にもう少し議論を行ったほうがよいとの意見はあった。

以 上